

高須地域有志との「“本気”で語ろう会」 会議録

団体名	高須地域有志
日 時	令和3年6月25日（金）18時30分から20時00分まで
場 所	高須町民会館
参加者	上原義史、平田久夫、竹永雅和、平田幸次、野村弘人、武村俊明、山下裕一、国生卓也、松下幸助、有留奈桜、平田正博
	市長、郷原市長公室長、鳥越地域活力推進課長、芝主幹（政策）、橋口
<p><b>【参加者の意見・要望等】</b></p> <p>○高須地域活性化の現状と資源を活用した今後の展開について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高須中学校跡地は、見晴らし、景色が良い。活用してくれる企業誘致やスポーツ合宿、食のテーマパークとして活用し、交流人口の増加、雇用へつなげてほしい。</li> <li>・土地の所有者が売却に消極的であったり、地番と住居表示が違って名義変更できなかったりするので、早く地籍調査をして土地が売れるようにしてほしい。農業振興地域の指定が除外されないところもある。</li> <li>・高須小跡地の芝はりには多数の協力をいただいたが、今後は町内会で維持していく。刈った草を校庭横に積みためているが、捨てるのに何かいい方法はないか。</li> <li>・子どもの少ない地域だからか、近所の方々はとても温かく声をかけてくれてありがたい。子どもの遊び相手がないので、子育て世代の移住は難しくても、地域外の子どもたちが遊びに来たくなるような場所になってほしい。</li> <li>・野里の子どもたちに高須のおぎおんさあに来てもらう計画もコロナウイルスの関係で、中止になったが、昔やっていたカヌー大会やスポーツ大会の開催など、高須に来て、楽しんでもらいたい。</li> <li>・高台の方の高須から海への眺望は最高である。霧島ヶ丘公園から海岸につながる通りやすい道の整備をお願いしたい。</li> <li>・金浜海岸も歴史的な名所であるが、観光客が立ち寄るような何かがあればと思う。</li> <li>・昔は海水浴に歩いていく客でにぎわった。いろんな人のアイデアが欲しい。</li> <li>・近頃空き家が増えている。IターンやUターンで移住者を呼び込みたい。</li> <li>・小学校の跡地で、菅原地区がやっているような軽トラ朝市をしてはどうか。</li> <li>・空き家も増えているが、空き地も多い。所有者が、売ってもあまりお金にならないからと売ってくれない。</li> <li>・中学生の子どもの友達がよく遊びに来るが、決まって「海に行きたい」という。若い人たちの「海」への憧れといったものをとらえて、焼きそばや今風のかき氷などを売る海の家が欲しい。</li> <li>・古江から浜田まで海岸沿いにコンビニが1軒もない。ちょっとした買い物に行くのも車で結構走らないといけないので、コンビニが欲しい。</li> <li>・小中学校の跡地活用の話が出ているが、緊急時には避難所として使えるようにしてほしい。台風の際もだが、特に津波の際は、学習センターや町民会館は海に近す</li> </ul>	

ぎる。小中学校は、体育館や武道館のトイレが使いにくいので、整備してほしい。

- ・海水浴場用の駐車場は、個人から借りているが、看板をたてたり、改修ができないので、市で取得してほしい。海釣り公園の話もあったが、土地の問題で進まなかった。
- ・トーチカも貴重な歴史資源だが、ぜひ中に入れるようにしてほしい。金浜海岸と併せて訪れてもらえる仕組みが必要である。誘客するために駐車場を整備してほしい。
- ・子どもが鹿屋にはいるが高須には住んでいないというケースも多い。高須に住んでいても孫世代が小学校に上がる時に引越しを検討してしまう。
- ・空き家はあるが、1区画が狭いので、車を2、3台とめられるくらいの土地の確保は難しい。
- ・高須の出身者で学校に集まり、高須大同窓会を開き、みんなで学校跡地の活用や地域の活性化を考えるのも良いのではないか。

### 【市長】

- ・昨年度実施された国勢調査の速報値の結果が公表され、鹿児島県も2015年から2020年の5年間で約6万人減少している。生涯未婚率の増加や晩婚化の影響で子どもが減少している。インフラが整備され便利になって市外からの通勤者も多い。また、店舗が無くても販売できるようになって、社会の進歩による人口減少がみられる。
- ・高須小中跡地の活用は、カウンターパート（対等な協力者）を見つけて、地域と一緒に考えていただきたい。
- ・教職員住宅は、Addressという定額制のレンタルハウスに登録したり、廃校跡地を活用して、少し贅沢な富裕層のセカンドハウスにするなども方策の一つだと思う。
- ・学校跡地の活用は、不動産業者や飲食業者に現地を見てもらって、いろんなアイデアを出してもらってはどうか。その中からカウンターパートが見つかるかもしれない。高須中のポテンシャルは高いので、分譲は不向きでも、何かいい活用方法はあると思う。
- ・建物と土地の所有者が違うところが多く、なかなか売却などが進まないという話を聞く。地籍調査については、鹿屋地区と吾平地区で進んでいない状況だが、計画的に調査を行っている。
- ・出身者のふるさと貢献の思いは熱いものがある。出身者が高須の活性化の応援団になってもらうような取組を考えてはどうか。
- ・金浜海岸は進駐軍の本土初上陸の場所という、貴重な歴史資源である。今、石碑や看板が立っている場所がカーブのところであって利用しにくいので、周辺に駐車場の整備ができないか検討している。
- ・スマホやタブレットを使って進駐軍の上陸の様子が見られるVRなども作成しているところである。
- ・マリンレジャーなども良いが、普段高須で獲れるものでいいので、海鮮のバーベキューを安価でやればお客さんも来ると思う。魚などの掴み取りをして、その場で焼いて食べるなど、良いのではないか。

- ・最近海水浴はあまりしないそうである。カンパチつかみ取りなど海ですれば、臨場感もあって盛り上がるのではないか。
- ・イベント開催は、1回にかかるエネルギーが大きい。終わった後の疲労感と、地域にもたらす効果のバランスが取れないと負担感だけが残る。
- ・職場や決まったメンバーの間だけではいいアイデアは出ない。若手や自分たちで考えて、カウンターパートを見つける動きをしてほしい。
- ・ヨソ者、バカ者、若者のアイデアを、地域と一緒に取り組む必要がある。
- ・輝北や花岡もふるさと会がある。いかに外に応援団をつくるかである。
- ・地域づくりは地域の人を持続的に取り組めることを地域の人と協働して、一体となって取り組むものである。